

保護者の皆様へ



全国で子どもが被害に遭う痛ましい交通事故が発生しています。
お子さんの命を守るため、日頃から親子で交通安全意識を高めましょう。

チャイルド(ジュニア)シートの不使用・誤使用はお子さんの命に関わります！

このような乗せ方をしていませんか？

【危険な乗り方の例】

大人用の
ベルトだけ



首や腹部にシートベルトがかかり、
首をケガする・内臓を圧迫する危険性大！

チャイルドシート・シートベルト
非着用



車外放出または、車内で全身を
強打します。

交通事故などの
衝撃による危険性

抱っこ



時速40kmで衝突したとき、
子どもの体重は30倍に?!
抱っこでは支えられません。

道路交通法71条の3 第3項により、
チャイルドシートを使用しない幼児（6歳未満）を乗せて自動車を運転してはならない
と定められています。

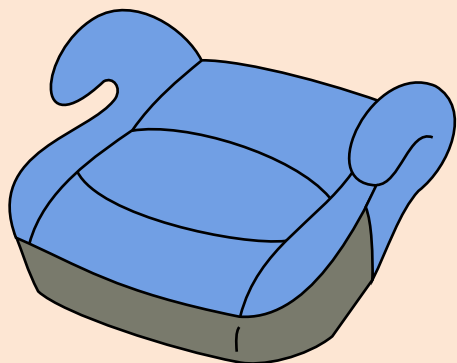
正しく着用できているか安全チェックをしましょう



チャイルドシート

1~4歳ぐらい
身長100cm以下
体重9~18kg前後

※取扱説明書のとおり正しく取り付けましょう



ジュニアシート

4~10歳ぐらい
身長150cm以下
体重15kg以上



定期的に安全チェックを
行いましょう



歩行中の安全ポイント

「手を繋ぐ」を習慣化させる

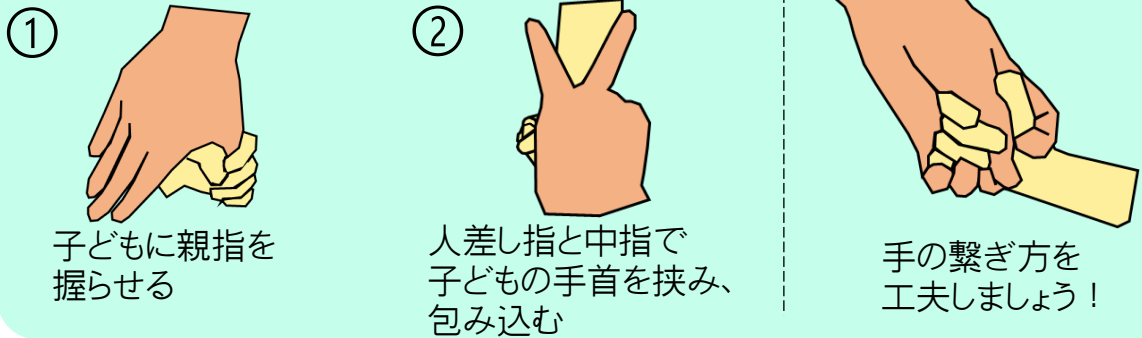
「子どもの1人歩き」による交通事故が多発しています。

子どもの飛び出しや車が接近した際、子どもを守るために道路や駐車場では手を繋ぎましょう。

ベビーカーや荷物等で手を繋ぐことが難しい場合は、ベビーカーや洋服の裾等を子どもに持たせ、子どもだけで歩かせないようにしましょう。



ほどけにくい手の繋ぎ方(例)

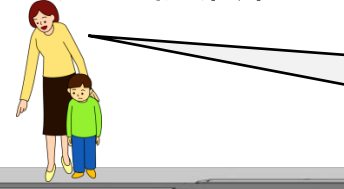


「止まる」を繰り返し指導する

子どもの危険行動で特に注意すべきことは「飛び出し」です。日頃から「止まる」を指導し、習慣化させましょう。

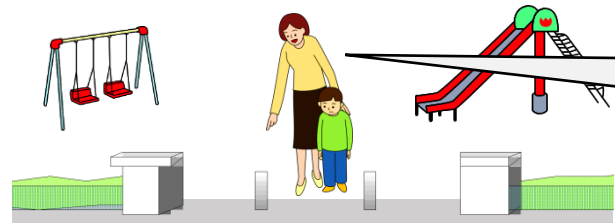
《止まる場所》

①横断歩道(脇道)横断時



道路のギリギリまで行かずに少し下がって止まろうね

②敷地(公園・店・家等)の出入り口



公園の前も車が走ってくるから止まるよ

③ストップマークがある場所

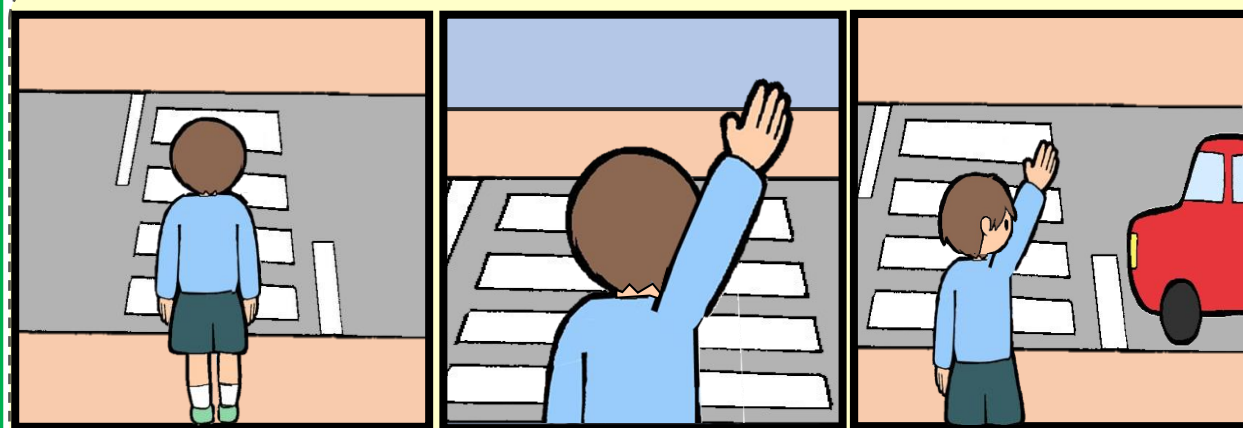


ストップマークの所で止まろうね

具体的に指導しましょう

- ・なぜ止まるのか
- ・どこで止まればいいのか 等

「安全横断」を身につけさせる



止まる

⚠️「とびだし」させない!

右手をあげる

💡 運転手に渡る意思表示

見る

💡 車が来ていたら待つ

指導ポイント



子どもの視野は大人より狭い! 顔や体を向けて安全確認させる

「何色の車が来た?」等、子どもが意識する声掛けをしましょう!

自転車乗車時は

「ヘルメット」を着用させる

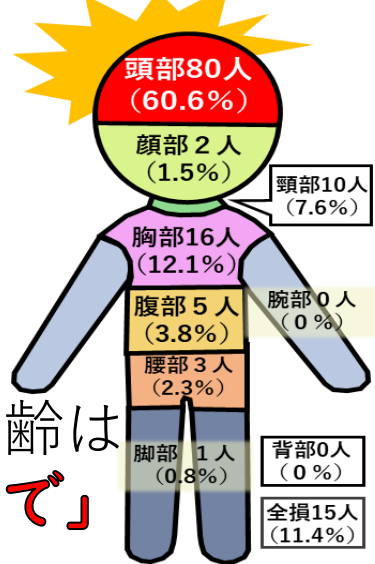
自転車の交通事故で亡くなった方の約6割が**頭部**に致命傷を負っています。

お子さんを自転車に乗せる際は、ヘルメットを着用させましょう。

また、幼児用座席に乗れる年齢は「**小学校就学の始期に達するまで**」となります。

年長児は小学校入学年の4月1日から乗車できません。

自転車事故死者の人身損傷部位 (平成28年~令和7年 県内)



親子で着用!



明日は4月1日、小学生になる日! 明日からは一緒に乗れないね。



保護者が子どもの**手本**となる

子どもは大人の真似をします。子どもと一緒に手をあげる、安全確認をする等、ルールを守った行動をしましょう。

